



PM C
matchday program



2018
9.3(mon)

VOL.02 第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 2回戦

真の大学日本一へ



ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！



発行：関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

Match Preview

試合の見どころ

ヤンマースタジアム長居	15:30 KICKOFF	Reported by 学連幹事
専修大学	VS	桃山学院大学

高松大学に勝利した専修大学。「試合前に多くの怪我人が出た状況で勝てたこと、代わりに出場した選手が良い働きをしてくれたことを非常に嬉しく思う」と語る源平貴久監督。「選手たちは反省すべき点を理解、改善していき相手の嫌な場所でボールを受け、自分たちのサッカーで観客を魅了してほしい」と今日の試合に期待を寄せる。

5年ぶりの出場となる桃山学院大学。基本フォーメーションは4-4-2で前線からの守備と、サイドの攻撃が持ち味。「運動量のあるMF14、徳永晃太郎(4年)がチームの要となる。一つでも多く勝って全国大会という舞台で力のある大学と戦っていききたい」と松本直也監督は話す。

ヤンマースタジアム長居	18:00 KICKOFF	Reported by 学連幹事・貞永晃二(サッカーライター)
法政大学	VS	中京大学

法政大学・長山一也監督は、連覇に向けて謙虚に粘り強くチャレンジしていきたいと話す。攻守に置いて隙を作らないハードワークが持ち味。キーププレイヤーのMF9、ディサロ燦シルヴァーノ(4年)や絶対的守護神のGK1、吉田舜(4年)らを中心に柔軟かつタフさのあるメンタリティで大会連覇、3冠達成を目指す。

中京大学・永富裕也監督は、「課題はいっぱいだが(笑)、法政大学には向かっていだけ。法政大学とは富山で45分を4本させてもらい、主力同士の1・2本目は結果が1-2でも内容は相手のゲーム。関東の強いチームとやれて選手たちが感じた部分はあるはずだし、次は公式戦で練習試合とは違うので、そこを楽しみながらやってもらいたい。特徴のある交代選手にタイミングよく、粘り強く活躍してくれれば。総力戦です」と期待を語った。

ヤンマーフィールド長居	15:30 KICKOFF	Reported by 藤基泰寛(読売新聞運動部)
早稲田大学	VS	鹿屋体育大学

早稲田大学は今季の関東1部リーグで首位を走り、今大会でも優勝候補の一角に挙げられる。複数の布陣を使い分けるなど、戦術面での柔軟性は高い。得点力のあるFW29、岡田優希(4年)らが果敢にゴールを狙う。

鹿屋体育大学は1回戦で3得点を挙げた攻撃陣が好調だ。塩川勝行監督は「相手は今、日本の大学で一番強いチームだと思うが、何とか隙を突いていきたい」と力を込める。粘り強く戦うことが鍵になりそうだ。

ヤンマーフィールド長居	18:00 KICKOFF	Reported by 藤基泰寛(読売新聞運動部)
日本文理大学	VS	大阪学院大学

守備に安定感がある大阪学院大学に、日本文理大学の攻撃力が通用するかが、焦点となる。

日本文理大学はその網をかくぐり、得意のサイド攻撃につなげられれば勝機は広がりそう。1回戦で攻撃の軸を担ったMF10、是枝真伍(4年)は「体調を整え、万全の状態で試合に臨みたい」と意気込む。

大阪学院大学は豊富なスタミナを持つ、主将のMF14、三木水都(4年)を中心に、中盤での激しいプレスで流れをつかみたい。

関西学生サッカー連盟公式SNS	SNSアカウント一覧
①試合前日には、公式facebookにて試合の見どころを紹介！！ ②試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿！！ ※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。 ③試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿！！	facebook  Twitter 
各公式サイトへはQRコードより読み取り、アクセスしていただけます。 大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご活用ください！	

関西学生サッカーに専用スタジアムを!!

関西学生サッカーの聖地づくりを目標に“未来・夢倶楽部会員”を募集しています！ 終身会費30,000円で、いつでも入会可能！

※未来夢倶楽部は当連盟主催・主管の全ての大会に無料で入場可能です。

入会案内は入場ゲート・受付にご用意しています！



関西学生サッカー未来・夢倶楽部
会員募集中！！



夢実現はわたしたちの合言葉



万博記念球技場	15:30 KICKOFF	Reported by 学連幹事
IPU・環太平洋大学	VS	明治大学

勝利を収めたIPU・環太平洋大学・桂秀樹監督は、「試合に向けて特にスカウティングはしなかった。対戦校の常葉大学に地力の差で追いつかれたが、決勝点はうまく点が取れた」と試合を振り返る。遠征でもまれた自信が少しずつ出てきていると感じている桂監督。今試合の明治大学戦は、「関東のチームにどのぐらい通用するのかチャレンジしていきたい」と語る。

昨年度の総理大臣杯で準優勝を収めた明治大学。「この夏、心と体を徹底的に鍛えてきた。1回戦を勝ち上がってきたチームは強いので、初戦に全てをぶつけたい」と語る栗田大輔監督。FW9、村田航一(4年)がケガに泣かされてきた3年間の屈辱をゴールで示す。

万博記念球技場	18:00 KICKOFF	Reported by 学連幹事
明治学院大学	VS	東海学園大学

総理大臣杯初出場となる明治学院大学。「キャリアの中でも全国大会初出場の選手が多い中厳しく、チャレンジャー精神を持って楽しくやっていきたい」と話す鈴木修人監督。強靱なフィジカルを持つ主将DF5、高橋龍世(4年)が最終ラインからチームをまとめていく。

2回戦進出を果たした東海学園大学・安原成泰監督。「試合の立ち上がりが緩かったため、立て続けに3点決められてしまいペースを握られ、試合を通して東海学園大学のペースにできなかったことが反省。選手のコンディションも良くなかったことでうまく合わない部分があったが、相手に助けられたこともありなんとか勝つことが出来た」と語る。「東海学園大学らしく、攻守で一体感を持ち、どこからでも崩し、仕掛け、フィニッシュできるように修正していきたい」と2回戦に臨む。

J-GREEN堺・メインフィールド	15:30 KICKOFF	Reported by 荒木茂(関西学連)
大阪体育大学	VS	福岡大学

昨年のインカレ2回戦では、大阪体育大学のDF4、菊池流帆(4年)が負傷交代した直後に2点目を挙げた福岡大学が1点差で逃げ切った。因縁の対戦となる今回、大阪体育大学の松尾元太監督は「9年連続出場だが、今年は結果を残したい。ハードワークをいわず、戦う姿勢を前面に」とリベンジを誓う。

1回戦は1-0の僅差ながら、「この試合は勝てばいいと考えていた」と余裕の福岡大学・乾真寛監督。大阪体育大学の意気込みは承知の上。「次が勝負。選手の顔ぶれも一新する予定」と宿敵を倒しての上位進出を狙う。

J-GREEN堺・メインフィールド	18:00 KICKOFF	Reported by 荒木茂(関西学連)
仙台大学	VS	駒澤大学

昨年に続いて初戦突破の仙台大学。1回戦は前半、徳山大学に押し込まれる場面もあったが、吉井秀邦監督は「決定機を逃さなければ、もっと余裕のある試合ができた」と振り返る。次は関東の強豪・駒澤大学。「涼しくなる時間帯の試合だし、じっくり対応して2回戦の壁を乗り越えたい」と話す。

駒澤大学は、第26回大会からの3連覇を含め6回の優勝経験を誇る。しかし、今回は4年ぶりの出場選手全員、全国大会は初めて。岩本哲也コーチは「謙虚に、そしてひたむきに臨む」と、あくまで挑戦者の立場を強調する。

テレビ放送のご案内

放送局	放送日	放送時間
読売テレビ	9月9日(日)	25:32～ 関西ローカル
日テレG+	9月22日(土)	11:00～
あすリートチャンネル	9月9日(日)	18:00～ LIVE配信



※放送時間は変更になる可能性があります。大会プログラムP.6・7にも掲載しています。

Match Review Result & Report

Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

新潟医療福祉大学

vs

中京大学

2018年8月31日(金) 15:31キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/298人

新潟医療福祉大学は、3度目の出場で全国初勝利を目指し、一方、26度目と常連の中京大学の目標は4強入り。序盤は中京大学がペースを握るが、新潟医療福祉大学はMF23、シマブクカズヨシ(1年)のバー直撃弾で勢いを得ると、12分、前へ出た中京大学GK1、近藤悠大(4年)のキックミスから、MF10、上米良柊人(4年)が無人のゴールへ正確なロングシュートを決めて先制し、以降も5分の展開へ。35分には上米良のシュートがポストを叩くなど決定機の数では新潟医療福祉大学が上回った。しかし、中京大学は45分、右サイドからFW7、大城佑斗(4年)が新潟医療福祉大学ゴールをこじあげ1-1と追いつき嫌なムードの一掃に成功した。開始すぐは新潟医療福祉大学ペースだった後半だが、やがて中京大学が多くのチャンスを作り、新潟医療福祉大学がそれを凌ぐという展開へ。そして2点目を奪ったのは中京大学だった。延長戦の予感が漂い始めた81分、右からMF15、市川兼伍(4年)のシュートをブロックしようとした新潟医療福祉大学DFに当たりコースが変わると、GK21、宗像利公(1年)は反応できず、これが決勝点に。敗れた新潟医療福祉大学・佐熊裕和監督は「最低です。崩せなかったの何人か代えたがそれでも上手く行かなかった。いつもやっていることをできず、改善もできずという形。意気込み過ぎと力の無さがはっきりした」と苦い表情だった。

新潟医療福祉大学	1	1-1 0-1	2	中京大学
12分 上米良柊人		得点 (アシスト)	45分 大城佑斗 81分 市川兼伍(大谷晃平・大城佑斗)	



Reported by 学連幹事

専修大学

vs

高松大学

2018年8月31日(金) 18:00キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/403人

最初に主導権を握ったのは丁寧にパスを回した専修大学。12分FW11、中山克広(4年)が高松大学の守備のブロックの外を突き、右サイドを突破。ファーサイドにクロスを上げるとFW19、中杉雄貴(3年)がボレーで決め得点を挙げる。専修大学がそのままボールを保持し続け試合を折り返す。後半に入ると、ラインを高めにした高松大学がペースを掴み始める。相手の裏を狙った攻撃とセカンドボールの回収で専修大学を苦しめるが、体を張った対応に跳ね返される。その後、ペースを取り戻した専修大学。90+4分FW17、遠藤翔太(2年)のクロス MF15、鹿沼直生(3年)が頭で合わせ、2回戦進出を果たした。

専修大学	2	1-0 1-0	0	高松大学
12分 中杉雄貴(中山克広) 90+4分 鹿沼直生(遠藤翔太)		得点 (アシスト)		



Match Review Result & Report

Reported by 藤基泰寛(読売新聞運動部)

日本文理大学

vs

松本大学

2018年8月31日(金) 15:31キックオフ
会場/ヤンマースタジアム長居 天候/晴 入場者数/474人

日本文理大学が威力のあるサイド攻撃を見せつけた。6分、MF29、田中真輝(1年)の浮き球のパスをMF7、舛田勇士郎(3年)が左足で蹴り込んで先制。14分に松本大学のFW9、小澤拓真(2年)のミドルシュートで追いつかれたが、45分、右サイドからDF8、山田大地(3年)が高速クロス。MF10、是枝真伍(4年)がダイビングヘッドでたたき込んだ。「FW9、東海林佑飛(2年)がニアに走って、DFを引っ張ってくれた。大地からのボールも良かった」と是枝は仲間に感謝した。

後半はMF14、濱上征也(3年)と東海林がゴールを挙げ、突き放した。

日本文理大学では毎日、クロス練習をしており、「ゴール前に3人は飛び込むよう意識している」と舛田。西野晃平監督は「総理大臣杯で初勝利し、日本文理大学の歴史を作れた」と喜んだ。

初出場の松本大学も見せ場は作った。55分に左サイドバックで先発したFW10、種岡優希(4年)がドリブルからネットを揺らしたが、ハンドの判定でノーゴール。「あれが決まっていたら流れも変わったかも」と悔しがった。齊藤茂監督は「自分たちのスタイルをさらに高め、強いチームを作っていきたい」と誓った。

日本文理大学	4	2-1 2-0	1	松本大学
6分 舛田勇士郎(田中真輝)			14分 小澤拓真(大槻潤)	
45分 是枝真伍(山田大地)		得点 (アシスト)		
60分 濱上征也(東海林佑飛)				
90分 東海林佑飛(澤村幸宜)				



Reported by 藤基泰寛(読売新聞運動部)

鹿屋体育大学

vs

阪南大学

2018年8月31日(金) 18:00キックオフ
会場/ヤンマースタジアム長居 天候/曇 入場者数/379人

鹿屋体育大学が前半に3得点を挙げ、優位に試合を進めた。「立ち上がりからシュートで攻撃を終わらせようと、試合前のミーティングで確認していた」とFW14、岡田浩平(4年)は言う。その狙いを自ら体現してみせたのは11分のことだ。ペナルティーエリア中央でボールを持つと、「思い切り振り抜いた」。強烈なシュートを決めて先制した。

追いつこうと前がかりになった阪南大学に対し、35分、再び岡田がゴールを決める。相手DFラインの裏へ抜け出すと、冷静に右足で流し込んだ。前半終了間際にはMF16、渡邊宥也(4年)がスーパーミドルをたたき込んだ。

沸き立つイレブンに対し、塩川勝行監督はハーフタイムで気を引き締めさせた。「後半15分までに1点を取られれば、相手は乗ってくる。0-0のつもりで、戦おう」。

実際、阪南大学は猛攻を仕掛けてきた。59分には3人を同時交代。FW9、草野侑己(4年)らが次々とシュートを放ったが、鹿屋体育大学のDF陣は体を張ってブロックするなどし、しのぎきった。

「全員がハードワークをして粘り強く戦うことができた。無失点で勝てたことは大きい」と塩川監督は満足げに語った。

鹿屋体育大学	3	3-0 0-0	0	阪南大学
11分 岡田浩平(綿引康)		得点 (アシスト)		
35分 岡田浩平				
45分 渡邊宥也(樋口雄太)				



Match Review Result & Report

Reported by 学連幹事

北海道教育大学岩見沢校

vs

東海学園大学

2018年8月31日(金) 15:30キックオフ
会場/万博記念競技場 天候/晴 入場者数/352人

北海道教育大学岩見沢校		3	0-1 0-2 0-0	4	東海学園大
-------------	--	---	-------------------	---	-------

序盤から東海学園大学が攻め、北海道教育大学岩見沢校が守るという展開が繰り返される。先に試合を動かしたのは北海道教育大学岩見沢校。26分MF24、小川達也(3年)がこぼれ球に反応し得点すると、直後にFW19、下田友也(2年)が中盤左サイドから駆け上がり自分でシュートし追加点を挙げる。34分にはFW10、鈴木翔(4年)がゴールを決めるものの、東海学園大学DF22、神谷凱士(3年)がFKを決め3-1で試合を折り返す。後半に入ると東海学園大学の神谷がピッチ内を自由に動き始める。86分にFW9、神門滉人(3年)がPKを決めると、90+1分に神門が同点弾を決め、延長に突入。94分FW24、西澤利樹(3年)が相手の隙をついて4点目を決め、東海学園大学が3点ビハインドをひっくり返し2回戦進出を決めた。

26分 小川達也	45分 神谷凱士
27分 下田友也	86分 神門滉人
34分 鈴木翔(下田友也)	90+1分 神門滉人(榎本啓吾)
	94分 西澤利樹(神谷凱士)



Reported by 学連幹事

常葉大学

vs

IPU・環太平洋大学

2018年8月31日(金) 19:30キックオフ
会場/万博記念競技場 天候/曇 入場者数/499人

常葉大学	2	0-1 2-2	3	IPU・環太平洋大学
------	---	------------	---	------------

1試合目が豪雨と雷で中断し、キックオフが1時間30分遅れた常葉大学対IPU・環太平洋大学の試合。立ち上がりは、両チーム共に高い位置からプレスをかける。それに対しDFラインから前線にロングボールを送り、セカンドボールを奪うという展開になる。だが、32分にIPU・環太平洋大学・FW25、赤木直人(3年)が左足でシュートを決める。後半に入ると、両チームとも選手間の距離が遠くボールを拾うことが出来ない。55分にIPU・環太平洋大学が追加点を挙げると、10分後に常葉大学のMF8、野中新史(2年)の浮き球パスをFW11、杉本マテウス(3年)が右足で決める。82分にはMF22、松田嵐太(2年)こぼれ球に反応し同点弾を決める。そのまま延長突入かと思われたか、90+2分にIPU・環太平洋大学の赤木が本日2得点目を決め試合を終えた。

65分 杉本マテウス(野中新史)	32分 赤木直人(土居晃貴)
82分 松田嵐太	55分 田中翔(中峯正博)
	90+2分 赤木直人(曾田一騎)



Match Review Result & Report

Reported by 荒木茂 (関西学連)

仙台大学

vs

徳山大学

2018年8月31日(金) 15:30キックオフ

会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/229人

リーグ戦と総理大臣杯予選を通して、仙台大学は今シーズン無敗。東北ナンバーワンの常連校に、12年ぶりの出場を果たした徳山大学が挑戦した。暑さも敵に回しての対戦は、立ち上がりから仙台大学が試合を支配。FW24、人見大地(2年)をターゲットにCKやクロスボールでゴールに迫る。そして6分、MF6、吉野蓮(3年)が中盤でボールを奪うと、FW13、岩淵弘人(3年)の縦パスを受けたMF14、薄葉迅人(2年)が右足を振り抜いてゴールネットを揺らした。

先制後も仙台大学ペースが続いたが、飲水タイムの直後から様相が変化。徳山大学のMF10、川内真一(4年)らが中盤でボールを拾い、MF14、西浦李央(4年)、FW18、山本駿亮(2年)らが右サイドを切り裂く。33分にはMF15、伊石祐也(2年)のシュートがサイドネットを揺たが、ゴールは割れないまま。

後半も仙台大学が主導権を握り、57分に得た右CKをファーポスト近くの人見が頭で折り返し、中央から薄葉が押し込んで2-0。83分にFW9、本吉佑多(3年)、90+2分にFW18、志村弘樹(2年)と、交代出場のFW陣が着実に追加点を奪い、無失点で逃げ切った。吉井秀邦監督は「暑さの中、交代選手がきっちり試合を決めてくれた」と満足げ。徳山大学・中村重和監督は「前線からのプレスが厳しかった」と相手の実力を認めた。

仙台大学	4	1-0 3-0	0	徳山大学
6分 薄葉迅人(岩淵弘人・吉野蓮)				
57分 薄葉迅人(人見大地・石井幹人)		得点		
83分 本吉佑多(嵯峨理久)		(アシスト)		
90+2分 志村弘樹(鈴木大貴)				



Reported by 荒木茂 (関西学連)

東北学院大学

vs

福岡大学

2018年8月31日(金) 18:00キックオフ

会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/曇 入場者数/244人

9年ぶり出場の東北学院大学は主将のFW10、佐々木優(4年)を中心に前線からのプレスを効かせ、九州の雄・福岡大学に互角の戦いを挑んだ。一方、徐々にペースをつかんだ福岡大学は、MF10、梅田魁人(3年)、MF8、河面龍征(3年)らが中盤を支配。45+1分、梅田が左サイドで粘ってクロスを挙げ、MF4、倉員宏人(1年)の豪快なミドルシュートにつなげたが、得点には至らない。

福岡大は前半30分の選手交代に続き、後半開始から2人が交代し、トップがほぼ入れ代わる布陣に。すると53分、FW17、梅木翼(2年)のパスを受けたFW11、花田佳惟斗(3年)が独走し、GKの動きを見ながら落ち着いてゴールに蹴り込み先制。後半から出場の2人が期待に応えた。東北学院大学のDF2、大山界人(4年)が左足を痛め、ピッチ外で治療中の出来事。一瞬のすきを突かれた失点だった。1点を追う東北学院大学は終盤、FW18、伊藤宙(2年)が左サイドから切り込んでシュートに持ち込むなど、巧みなパスワークでゴールに迫ったがゴールは遠く、福岡大学の逃げ切りを許した。

福岡大学・乾真寛監督は「勝ったのは予定通り。選手交代も試合前から考えていた」と辛勝にも余裕の表情。東北学院大学の松原悟監督は「ゲームプラン通りの展開。敗れはしたが、よく戦った」と選手たちをねぎらった。

東北学院大学	0	0-0 0-1	1	福岡大学
		得点	53分 花田佳惟斗(梅木翼)	
		(アシスト)		



Official Goods

第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

●ユニフォーム型ストラップ

販売価格 500円

全24チーム分販売！

売り切れ御免！



●記念タオル

販売価格 700円



●公式プログラム

販売価格 1000円

販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 広報企画！

トモニタカオウ企画

トモニタカオウ企画として出場校の選手やスタッフたちが書いた「応援をしてくれる仲間や家族、恩師などに向けてのメッセージ」を関西学生サッカー連盟公式Google+アカウントにて公開しています！是非ご覧ください！



第42回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 勝敗予想企画！

試合観戦で素敵な商品をGETしよう！！

・勝敗予想企画で**マンダム商品**が当たる



■勝敗予想

応援するチームの勝利を予想して
景品を当てよう！
試合開始前に勝敗予想用紙を
勝敗予想BOXに入れてね！



TICKET

お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！

(準決勝より有料)

チケットぴあ

(Pコード 675-405)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。



禁煙

禁煙・ゴミの持ち帰りに
ご協力お願いします。



好プレーに

CLAP

関西学生サッカーファンクラブのご案内

関西学生サッカーを盛り上げるため、選手たちを熱くサポートしよう！

◎会員特典

- ① 関西学連主催・主管大会の入場無料。
- ② 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。
- ③ ファンクラブニュース、年10回程度発行。

【お申込み】

下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費(4000円)、「氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・応援している大学・選手」をご記入の用紙を同封し、現金書留にてお申込み下さい。

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-4-10 博労町エステートビル601

関西学生サッカー連盟「ファンクラブ入会」係 まで

